

地域の新規高卒労働市場における需給ミスマッチの規定要因

長谷川 理映

関西学院大学大学院経済学研究科博士課程後期課程

[要旨]

本稿は、地域データを用いて新規高卒労働市場の需給ミスマッチの規定要因及び地域労働市場に及ぼす影響を明らかにし、雇用と福祉の連携という観点から国の出先機関と自治体の協力のもとで地域労働市場に適合した雇用対策を行う必要性について提言することを目的としている。

分析の結果新規高卒市場においては以下のような問題が浮かび上がってきた。

- ① 進学率が高まる結果、かえって新規高卒者の地域労働市場の需給ミスマッチを拡大させている。
- ② 所得の高い地域ほど進学率が高く、所得の低い地域ほど就職を迫られている。
- ③ 所得の低い県ほど、所得の高い県への就職意欲が高まり、その結果、県内の労働市場の需給ミスマッチは改善しない。
- ④ 非正規雇用の拡大が、新規高卒労働市場の労働需給ミスマッチを拡大させている点にも、注意が必要である

このように、実証分析から、高校新卒者の地域労働市場は、非常に大きな問題を抱えていることが明らかになった。

そこで今後高卒者など地域の若年労働市場における需給ミスマッチ緩和のため、高等学校における進路指導・職業紹介システムの改革、ハローワークにおける新規高卒者向け雇用対策、自治体における若年層に対する雇用対策などの具体化が検討されるべきである。